

講師のひとりごと

『心を掴む』と

先日、震災後数少なくなつてしまつた「生牡蠣」を専門に扱うお店に行つてきました。研修が続くと体力も削られていくため、エネルギー充填のため、私の場合思い切り食事を楽しむ日を設けることがあります。そのお店は、広さは約六畳くらいでしょうか、テーブル席はなくカウンターで十名入るくらいはないくらいスペースです。常時四カ所の産地から生牡蠣を取り寄せており、鮮度を維持するための保存機器も充実しているだけに、味は申し分ありませんでした。美味しいものを食べ

お褒め図書のコナー

『韓国最強企業サムスンの22の成功習慣』

ジョン・オクビョウ

韓国のみならず世界を席巻するサムスン電子。飛ぶ鳥を落とす勢いの会社の元支社長が書き表した渾身の一冊です。著者本人も最後は常務理事まで勤め上げ、数々の成功神話を作り出しました。なぜこれほどまでサムスンが急成長できたのか、その秘訣や考え方が随所にちりばめられています。プロ社員は如何にあるべきか、管理者は如何にあるべきか、そして生き馬の目を抜くような厳しい経済環境の中「勝つ」ためにはどのような心構えと行動で臨むべきかを、豊富な事例と逸話を交え

た幸福感からつい笑顔になつてしまいました。そんな魅力的なお店であるだけに、当然生牡蠣を食べたい一心でいらつしやるお客様は後を絶えません。しかしお断りしなければいけない回数も多く、私としてはもう少し広いスペースならいいのに、と感じていました。しかし、その時のオーナーのお断りしなければならぬお客様への対応で、このお店の評価が更に上がりました。

「申し訳ありません。只今満席となっております。もしよろしければ、席が空き次第すぐにご連絡差し上げます。いらつしやうございました。最高に美味しい牡蠣をご提供させて頂きました。」

ながら説明しています。22の成功習慣の根底に流れるものは、徹底したプロ意識と、自らの内側からふつふつと沸き起こる情熱でしょう。勝つために自ら情熱を燃やして計画を立て、その後は一寸の油断も無く行動をし、行動の結果を厳しく自己反省する事。結果を出すプロがしているプロセスですが、ここにサムスンの成長の秘訣があると思います。この本ではその様子がヒシヒシと伝わってきます。管理者から一般社員まで必読の一冊です。

『宅配』

落合博満

昨年までプロ野球セ・リーグの中ドラゴンズを率いた、落合元監督の著書となります。中日ドラゴンズを率いた8年間で、日本一1回、そのうちリーグ優勝4回、2位が3回、3位が1回と、監督として素晴らしい成績を残しました。名選手名監督にあらずと言われるプロ野球界で、なぜ落合氏は結果を残すことが出来たのか。その要素がこの一冊の本に詰まっています。落合氏は決して「オレ流」ではなく、基本を大事にして、正道を進んできたという事です。今回著書を読んで、私は誤解している部分が多くありました。やはり企業やチームの発展には、近道は無く、当たり前のことを当たり前にやるのが一番の要です。物事の本質について深く考えさせられる一冊です。

す。」その言葉の端々から、足を運んでくれたお客様への感謝の気持ち、オーナーとしての店への誇りが感じられました。鮮度維持のためから二十二時までの営業ですが、一度は断られたお客様のほとんどが、待ってましたと言わんばかりの表情で店に来店してました。そしてその数分後には、私と同じ幸せな笑顔になっていました。

こういうお店が今後増えていくことが、震災で傷を負った東北に活力を与えてくれるのだなど、美味しい牡蠣を頬張りながらしみじみと感じた一時でした。

た8年間で、日本一1回、そのうちリーグ優勝4回、2位が3回、3位が1回と、監督として素晴らしい成績を残しました。名選手名監督にあらずと言われるプロ野球界で、なぜ落合氏は結果を残すことが出来たのか。その要素がこの一冊の本に詰まっています。落合氏は決して「オレ流」ではなく、基本を大事にして、正道を進んできたという事です。今回著書を読んで、私は誤解している部分が多くありました。やはり企業やチームの発展には、近道は無く、当たり前のことを当たり前にやるのが一番の要です。物事の本質について深く考えさせられる一冊です。

ビジネス教育訓練所(株)
所在地 仙台市青葉区愛子中央3-16-2
TEL 022-392-5511
FAX 022-392-5039
URL http://www.business-k.co.jp

編集後記
慌ただしい新生活もそろそろ落ち着いてきた頃ではないでしょうか。張り詰めていた気持ちや緊張が解け始め、長期の休みに入るこの時期に心配されるのが「五月病」です。やる気はあるものの、今春に生活環境が大きく変化した中で、新しい生活や環境に適応できないままGWを迎える人にとっては、長期の休みで疲労が一気に現れ、発病してしまうといった例が多いようです。出来るだけストレスを溜めないよう、休日には好きな事を思い切り行ってみたり、自分に合ったフレッシュな方法を考え、日頃から解消出来る生活を送れると良いですね。

ビジネス教育訓練所株式会社
閃光編集部 スタッフ一同

閃光

平成二十四年皇月号



Business

鍛錬

経営することや講師として研修を担当することは体力・気力をかなり消耗するので、普段から心身を鍛錬している。特に身体に関しては、創業以来毎日約三十分ジョギングをしている。数年前からは、筋トレも加えて、腕立てを二百回腹筋を千回を基準として実施している。そのせいか、年齢六十を超えても、仕事に支障なく毎日元気に取り組んでいられる。同年代と比べてかなり若く見られているようである。今冬は例年よりも寒さが厳しく雪も多いので、道路を走れない日が多いため、冬期間はフィットネスクラブを利用し、鍛えている。しかしながら、思わぬアクシデントがあった。ランニングマシンでトレーニング中不覚にもバランスを崩し、転倒してしまつたのである。左手を痛め腫れ上がったが、たいしたことはないだろうと思つていた。翌日、どす黒くなり、とても腫れていた。念のため整形外科に行つてみることにした。診断の結果、なんと左の薬指が骨折していた。したがって、ギプスをすることになり、一ヶ月は左手が使えない状況となつた。骨折は生まれて初めてのことで、ショックだった。たかだか指の骨折なのだが、生活するのになんと不自由だったか、人間の体はうまくできておらず、指一つでも大変なことであるとしみじみ感じさせられた。一ヶ月で、ギプス包帯は取つたが、指が思うように動かなくなつていたので、週三回リハビリをして早く回復するよう通院しているところである。それにしても、約一ヶ月固定していると骨折した指ばかりではなく、両隣の指も思うように動かなくなつており、使わないとだめになるものなんだと痛感させられた。人間頭も身体も怠けさせたら錆び付くものである。ところで、トレーニングしている最中、転倒したのは、まだ若いと思つていたものの確実に老いてきているのだらう。さすがに運動神経が鈍ってきたんだと思わざるをえなかつたし、若いと過信してはいけないと戒めなければいけない。このアクシデントで、運動することによりプレートをかけることなく、より注意深く体を動かし、鍛錬を継続していく決意である。

ビジネス教育訓練所株式会社

代表取締役 三塚 信二

新入社員教育四日間合宿

三月十三日(火)〜十六日(金)

参加者の声

今年最初の新入社員特訓は、大学卒業九名を対象に研修が行われました。人事担当者からは研修に關してはある程度聞いていたようですが、研修冒頭から、聞くことや戸惑いの表情が見取れました。研修冒頭の姿勢指導から、ビジネスの厳しさをヒシヒシと感じていました。自己紹介では、何度も就職試験で自分の長所などを言ってきたはずなのに、いざ訓練という環境に身を置くと、緊張してスピーチできない、スピーチ以前に一礼を忘れてしまひ失格になるなど、思う様にできない自分の高さを感じたようでした。新入社員は厳しい訓練に耐えられないのでは、と心配をする方もいると思ひますが、決してそうでは無く、誰もが素晴らしい潜在能力を秘めています。これまではその機会が無かつただけです。大きく飛躍し活躍して欲しいと思います。

